

令和2年度 諏訪養護学校 グランドデザイン

長野県特別支援学校重点目標

- ・一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす学校
- ・地域や企業とつながり、インクルーシブな社会をリードする特別支援学校

学校長の願い

- ・子ども、家庭、地域、職員が「ありのままの自分を大切にし、皆と共に生きる」ことに喜びを感じ、笑顔があふれる学校

学校教育目標 「げんき」 「なかよく」 「ぐんぐんと」

(健康な体)

(豊かな心)

(主体的な学び)

～その子らしく、その子のもてる力を発揮できるようになってほしい～

【目指す具体的な子どもの姿】

げんき

- ①めいっぱい遊べる子ども
- ②最後までがんばりぬく子ども
- ③健康・安全に気をつける子ども

なかよく

- ①友だちとのかかわりがもてる子ども
- ②進んであいさつができる子ども
- ③仲間の良さに気づける子ども

ぐんぐんと

- ①自分から進んで取り組む子ども
- ②自分から工夫できる子ども
- ③自分の願いをもてる子ども

【実現するための3本柱】

A 指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 一人ひとりの子どもがもてる力を発揮できる状況づくり(授業づくり、教材教具の開発、手だての追究)
- 個に応じた「個別の指導計画」の作成・活用・見直し
- 家庭・地域との情報共有及び連携・協働(子どもを支えるチームづくり、支援会議の開催、地域資源の活用)
- 学びの連続性を意識した、幼保、小中高との連携・交流学习(副学籍制度の充実、交流学習の推進)
- インクルーシブな社会をリードするセンター的な機能の充実(専門性の向上、相談機能の充実)
- 子どもと向き合う時間の確保

B 安心・安全な学校生活づくり

- 学校生活を楽しめる安心・安全な環境づくり
- 自分の命は自分で守る子どもの育成(防災安全)
- 認め合い、安心して過ごせる教室・学校(人権尊重)

C 開かれた学校づくり

- 地域の人材、資源を活かした学校づくり
- 家庭・地域と話し合い、情報共有できる環境
- 地域に認められ、地域に貢献できる学校